社說

支那米の輸入を謀る可し

一昨年來米穀の作柄不良にして收穫不充分なるが爲め米價は次第に騰貴し一石の相場十二三圓臺を下らざるより細民の生計甚だ困難にして滿足に三度の食事を爲す能はざる者も少なからずと云ふ現に信州其他の地方に於ては有志家が金品を寄第して極貧者の生計を補助するなどの計畫ある由なれども要するに一部局の事にして斯る小策を以て全國の細民を救助するは到底及び難き所なり我邦の所見を以てすれば今日の米價騰貴は供給不足の一事最も與て力あるものなれば實際細民をして飢餓の災難を免かれしめんには此際大に關價の外國米を輸入して米穀の供給を豐にするの外に適當の策なしと信ずるものなり今日我國に於ては米穀の輸出入共に自由にして內國の米價騰貴すれば內國米の輸出減少して外國米の輸入增加し以て內外の相場を平均せしむるの傾なきに非ざれども如何せん外國米の供給には自から限りありて現今の如き米價暴騰の際にも其勢を抑制する丈けの輸入を見る能はざる次第なれば飢餓の際に達に外國米を輸入するは甚だ愛東なしとの說もあらんかなれども今日の如く輸入を二三の國にのみ仰げば兎も角も一旦支那米の輸入を謀らんには供給の增加を見る決して難事と云ふ可らず元來支那は農業を立國の基礎とするものにして殊に長江の兩岸肥沃の土地に乏しからず米穀の產出甚だ盛なるを以て一石の相場は數例七圓內外なりと云ふ我國今日の相場と比較すれば數圓以上の相違にして近年兩國の交通頻繁なる際には支那米は大に我國へ輸入して相場の平均を求ひ可き筈なるに實際然らざるは畢竟支那政府が米穀の供給を自國に專にせんとして其輸出を禁止するが爲めに外ならず現に支那米として我內地へ輸入するは皆、右の禁止を犯したるものにして上海邊の支那人が內地用に充つると稱して廣東へ輸送したる米穀を更らに小舟に積込みて或は稅關吏の眼を掠め或は之に賄賂を與ふるなど種々樣々の苦心を運らして香港へ密輸し此處より公けに外國へ輸出する次第なれば其原價みを低廉なれども運搬中の手數と費用とは決して少なからざるを以て我國へ達するまでは自から高價と爲らざるを得ず彼我兩國の米價に非常の相違あるにも拘はらず支那米が大に我國に入らざるは全く右の事情に外ならざれば若しも支那政府にして輸出の禁止を解かんには支那米は續々我內地に入り來りて米價の下落を促すに至るは必然の成行なり成は之が爲めに彼の內地に米穀の供給を減ずるみともあらんには自から米價を騰貴せしめて農民の利益を增します〳〵肥沃の土地を開墾して產出の增加を謀る可きを以て米穀は我國へ供給して充分の餘裕を見るを得べし米價の騰貴にして今日の如く際限なき場合に於ては支那政府をして米穀の輸出を自由にせしめ大に輸入を輸入するの必要は甚だ明白なりと云ふ可し然るに米作が平年の通りにして收穫充分ならんには支那政府が輸出を禁ずるも可なれども若し自然の不作なれば人民の困難を救ふ爲めに輸出を禁止して其供給を絕つが如きは隣國に對して友誼を疎したるものに非ず往年支那に飢饉ありて貴民が非常の難儀を極めたる際に我國人は隣國の災難を坐視するに忍びず朝野の篤志家より義捐金を募集して罹災者を惠みたるの例あり今日に至りて其報酬を望むが如きは決して我國の本意に非ざれども苟くも隣國に對する義務を思はんには僅令ひ一時たりとも米穀の輸出を自由にして其急を救ふみを支那政府が我に對するの道なる可し前後の事情にして此の如くなれば今日我國にして此事を要求せんには支那政府に於て萬々之を拒む理由ある可らず外交當局者の伎倆に依て支那米輸入の道を開き米價騰貴の勢を抑制して細民の困難を除くは我輩の切に希望する所なり思ふに支那政府が今日に至るまで米穀の輸出を禁止するは多年因襲の熱らしむる所にして經濟上の不利益は決して少なしと云ふ可らず寧ろ高價にて需要する我國に販路を開く其代りに自國に最も必要なる綿織物を輸入せんと云ふ可らず寧ろ高價にて需要する我國に販路を開く其代りに自國に最も必要なる綿織其他の製造工藝品を廉價に輸入するみを得策なるは明白の事實なれば彼の政府にして此邊の事情を解せんには自から進んで米穀輸出の自由を認むるみとなしと云ふ可らず我邦が當局者の注意を促す所以なり

○神奈川縣の選擧競爭

第一區は例の鶴田三郎氏獨占の姿にして至極平穩なるが期日間際に至り自由黨より打て出でんとの噂はあれども到底覺束なからんか○第二區は自由黨の山田泰造進歩黨の大塚成吉兩氏殆んど互角の勢にして甚だ覺束なからんか○第二區は自由黨の山田泰造進歩黨の大塚成吉兩氏殆んど互角の勢にして孰れも成敗見分け難き有樣なるが元來同區二千三百餘の有權者中には進歩黨派の者は少くして自然山田氏の方引立ちて見ゆれども大塚氏に同情を表する者も少なからざる由なれば各運動者は今や必死となりて奔走し競爭中々盛なりと云ふ○第三區は德增熙太郎（自由）內山仁兵衛（進歩）若命信義（進歩）伊藤春藏（進歩）猪瀨樵治（連合）等の諸氏目下頻りに運動中なりとの事なるが被選者も二名の事なれば期日迫ると共に愈々競爭激しかるべしとの事なり○第四區は自由黨の梶野敬三、難波捨平、長谷川彥八等の諸氏恰かも同士打ちの奇觀を呈し居りしが今日に於ては梶野氏の當選となるべき模樣あり○第五區は進歩黨の長谷川鹽吉、安藤龜次郎、自由黨の森鍬三郎、近藤賤夫西氏盛に競爭しつゝあるも目今は安藤、森の兩氏比較的勢力ある有樣にて隨分目覺しき競爭あるべしと云ふ

○敘任辭令

陸軍歩兵大佐
任陸軍歩兵中佐　粟屋幹
任給井縣師井縣常中學校長　尾原亮太郎
任陸軍武生師常中學校長　西村藤三
任師團師井縣常中學校教諭　堀田繪次郎
任師團師井縣常中學校教諭　武田繪七郎
（以上三月四日）

○博覽時博覽會の出品に就て　佛國巴里に於て

農商務省にては目下夫れ〳〵出品準備中なるが先年シカゴの博覽會の際當局者は運賃其他の補助費を給して出品を奬勵せし結ぬ出品數六千噸以上に達し此內漸く千五百噸許出品したるに案外の不結果にて遙々本邦へ發送したるもの頗る多かりしかば今回は前例に鑑み充分出品數を精選し餘り多きを望まざる方針なれども昨年其筋へ出願せしものも既に一千八百噸に上りたりと云ふ

○英國の社會主義村落

ペヘミアのカブルと云ふ無政府黨員は安寧秩序を妨害するの罪を以て國外に放逐され倫敦に漂流して蝸輪師を業とせしが思はしからざるよりニューカッスル市に赴き職業を營業中國ら有名なる周旋家キー氏と親懇を結び社會主義の本領に依て土地を耕作し一村落を創立し度き兼ての志願を申出でしにキー氏は其所望の奇なるを眞して三年前に其所有地を貸與せしかばカブルは深く其好意を謝して先づ同志二名夫婦と六人の小兒を以て其業に着手せり歲月尙ほ淺く且つ人數も少なければ其成功如何は豫めトするを得ざれども今日迄での所は至極房結果にして其目的は村落の利益を共同の物とし互に貧窮疾病を助け合ひ會員の智識を發達し德義を高うするを勉め兼て相互の快樂を增加せんとするにありて會員は能く其規約を遵奉し居るとなり

○英艦の兵器運送船捕獲　英國砲艦ラブウイング

は亞剌比亞マスカットの近海に於て英船ベルチスタン號を捕獲し其搭載せる兵器彈藥を沒收せりと○報は過日のロイテル特電に見えしが是等の軍用品を輸送したる倫敦の商人は右の報に接し銃砲の製造注文を取り消せしかば之を請負ひたる者は非常の迷惑を被り其中には屈指の兵器製造家もありと云ふ風說に據れば右の沒收されたる大砲は英國バーミンガム市より送りたるものにして是れ迄も波斯灣へ向け數多の兵器を輸送したる趣にて倫敦の或る商人の注文に依り三箇年の間毎週小銃百挺彈藥一噸を製造したる上に此頃に至り同一の商人より毎月刀劍三百本製造の注文を受けたる會社該市にあり其輸送先は印度境上にして反徒に供給するものならんとなり

○犯罪の美術（廿九）

醒峰

煙草の紅茶を運び來りたれば、箕村は起き上がりて、

「辯解つて、何を言ふ。新聞に出た事は、何でも僕が、辯解しなければならない、義理があるかい。」

「イヤ、左樣いふ譯ぢやないが――」

「さう云ふ譯でなけりやア、何故だい、可笑しいぢやないか。斯う云ふ、盜賊だの、殺人だの、一切は、平常新聞に出て居るみとだ、一向珍しくも何ともない。斯んなものに對して、辯解して居やうものなら、毎日僕は辯解して居なけりやアならない。」

「イヤ、何でも彼でも、辯解しろと云ふのではない。特にみれは、君に關係があると思ふからだ。何も左樣憶けなくつても、宜いぢやないか。」

「何も憶けやしないよ。僕に關係がある。ハ、ア君は、僕が那の列車に乘り合はせて、例の平凡探偵に、身體を檢められたり、何かしたから、そんなみとを云ふのだらう。」

「僞た憶けてるよ、君は。それ許りぢやない、もつと君の注意を、惹かなけりやアならないものがある。苟も開會せらるゝ萬國博覽會に付き農商務省にて出品を奬勵せし結ぬ出品準備中なるが先年シカゴの博覽會の際當局者は運賃其他の補助費を給して出品を奬勵せし結ぬ出品數六千噸以上に達し此內漸く千五百噸許出品したるに案外の不結果にて遙々本邦へ發送したるもの頗る多かりしかば今回は前例に鑑み充分出品數を精選し餘り多きを望まざる方針なれども昨年其筋へ出願せしものも既に一千八百噸に上りたりと云ふ

「君と僕とは、何うら、斯う云ふ寶梅を惡く云ふものも、して、是でも僕は、それに今になつて、

「オイ〳〵、止し給宜いさ。」

と箕村に制せられひながらも、取りあせで、再び元の

みに鮭や、西陣なら打ち汚して、

「眞賊に何うした

は實は、

行ふと云ふ賊を

賊だと云ふ、すも

同じ家で、婦人が

も驚くぢやない